

第六條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ蠶種製造終了後一ヶ月以内ニ様式第二號ノ成績報告書ニ出穀繭二十五顆ヲ添へ原蠶種製造所長ニ差出スヘシ

第七條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者第五條、第六條ノ規程ヲ履行セサルトキハ配付原蠶種百蛾ニ付金五圓以内ノ割合ヲ以テ辨賞金ヲ徵收スルコトアルヘシ

第八條 原蠶種以外ノ蠶種ハ相當代價ヲ以テ之ヲ配付シ又ハ調査研究ノ資トシテ無償配付ヲナスコトアルヘシ

様式第一號

原蠶種配付請求書

化性	品種名	蛾數	單用又ハ組合セ品種名豫定

右原蠶種配付規程遵守可致候間御配付相成度此段及請求候也

年月日

住所氏名

印

千葉縣原蠶種製造所長宛

様式第二號

一、蠶兒飼育成績

化性	品種名	原蠶種掃立數量		掃立飼育	收繭額		對一蛾又ハ蠶種繭量
		一蛾育蛾數	混蛾育ハ蛾數		上繭同切繭其ノ他計	收繭額	

二、蠶種製造成績

化性	品種名	越年不越年ノ別	原蠶種		普通蠶種	
			框製袋製	袋製	框製袋製	平付

備考（飼育中ノ經過、發蛾並産卵狀況等ニ異狀アリト認ムル場合ハ之ヲ附記スヘシ）

大正 年度御配付相成候原蠶種飼育並蠶種製造成績左ノ通ニ有之候條出穀繭二十五顆相添ヘ此段及報告候也

年 月 日

住 所 氏

名 ①

千葉縣原蠶種製造所長宛

蠶種検査吏員養成規程

（大正二年十二月十六日 千葉縣告示第四五九號）

第一條 千葉縣蠶業取締所ハ蠶種検査吏員ヲ養成スル爲本規程ニ依リ講習ヲ行フ

第二條 講習期間ハ三箇月トシ講習スヘキ科目左ノ如シ

一 學 科 （修身、養蠶法、蠶体生理、蠶体病理、蠶病消毒法、顯

微鏡使用法、理化大意）

二 實 習 （蠶種検査法）

第三條 講習生ハ本縣内在籍ノ女子ニシテ左ノ各號ニ該當スル者ニ限ル

一、年齡滿十六歲以上ニシテ將來蠶種検査吏員志望ノ者

二、高等小學校卒業ノ者若ハ蠶業取締所長ニ於テ試験ノ上高等小學校卒業以上ノ學力アリト認メタル者

三、品行方正身體強健ニシテ傳染性ノ疾患ナク且視力ニ妨ケナキ者

第四條 前條第二號ノ試験ハ左ノ科目ニ付之レヲ行フ

一、讀書 二、算術 三、作文

第五條 講習志願者ハ毎年十二月二十日迄ニ講習志願書（第一號様式）ニ

履歷書（第二號様式）及戶籍謄本ヲ添ヘ蠶業取締所長ニ差出スヘシ

第六條 講習志願者ニシテ豫定人員ヲ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

第七條 講習中實習ニ要スル物品ヲ除クノ外講習生ノ學費ハ總テ自辨ト  
ス但シ授業料ハ之ヲ徴收セス

第八條 蠶業取締所長ハ其ノ指定シタル宿舍ニ寄宿スル講習生ニ對シ豫  
算ノ範圍内ニ於テ特ニ金拾四圓以内ノ食費ヲ給與スルコトヲ得

第九條 講習ヲ終リタルトキハ蠶業取締所長ハ試験ヲ行ヒ其ノ合格者ニ  
修了證書ヲ授與ス

第十條 講習生ニシテ成業ノ見込ナク又ハ不都合ノ行爲アリト認ムルト  
キハ蠶業取締所長ハ之ニ退學ヲ命スルコトアルヘシ

(第一號様式)

講習志願書

私儀蠶種検査吏員志望ニ付御所ノ講習相受度別紙履歷書及戸籍謄本相  
添へ此段相願候也

大正 年 月 日

住 所

志願人 氏 名 印

前記ノ者講習中ユ起リタル一分ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候也  
大正 年 月 日 住 所

千葉縣蠶業取締所長

保證人 氏 名 印  
殿

(第二號様式)

履 歷 書

現住所

族籍(戸主又ハ戸主トノ關係)  
氏 名

姓年月日

學業

一何年何月ヨリ何年何月マテ何々學校若ハ何某ニ就キ何學修業  
一何年何月何學校第何學年ノ課程修業若ハ全科卒業

職業

一何年何月ヨリ何年何月マテ某所ニ於テ何業ニ從事  
一何年何月何々拜命何年何月辭職

賞罰

一賞何々  
一罰何々

右ノ通相違無之候也

大正 年 月 日

氏 名 印

大正七年五月二十五日印刷  
大正七年五月二十八日發行

編輯者

千葉縣蠶業取締所

印刷兼發行者

西原春吉

千葉縣千葉郡千葉町  
千二百五十番地

發行所

進榮社

千葉縣千葉郡千葉町  
千二百五十番地

F/2  
1407

終

